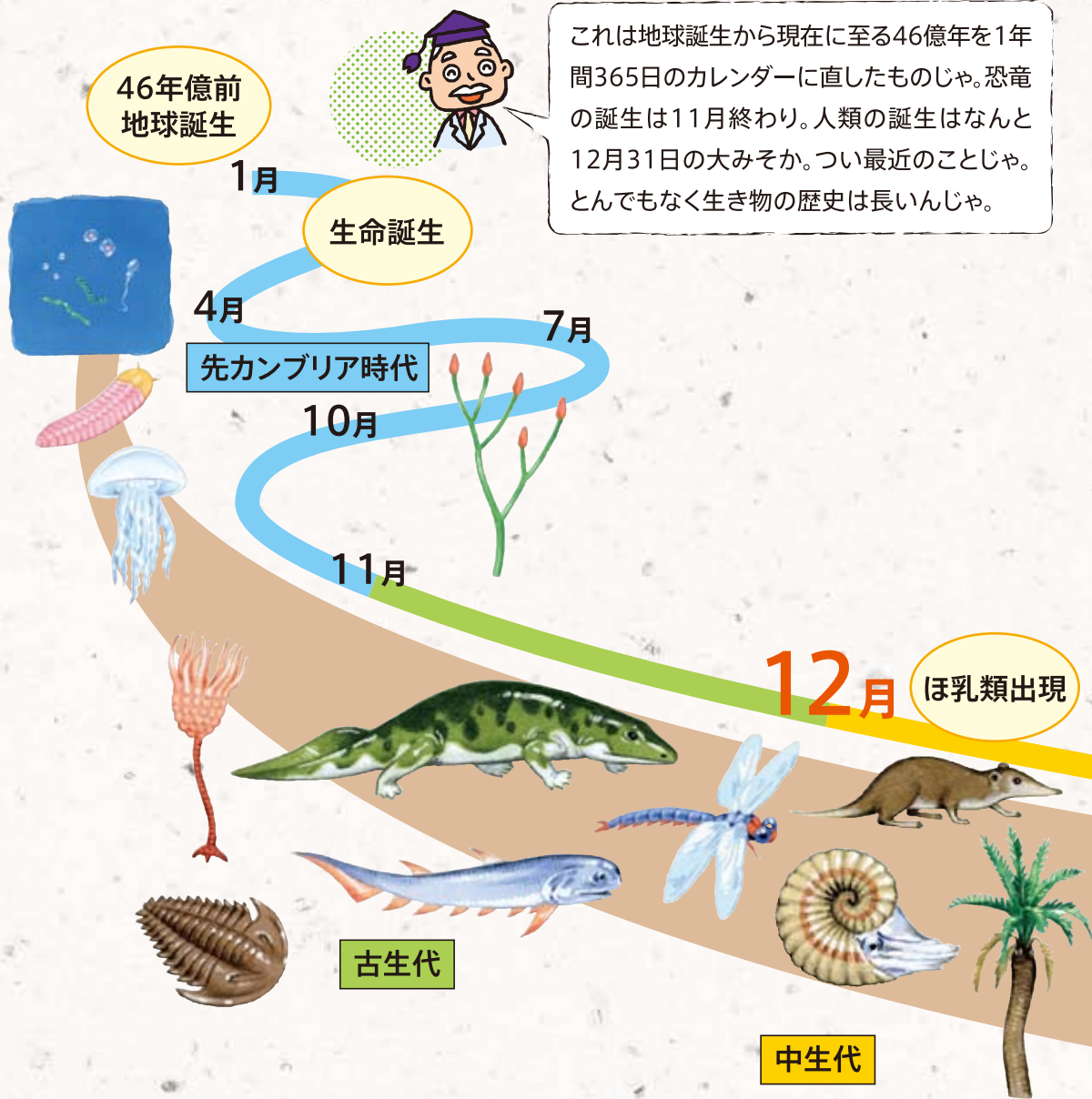


地球46億歳、生き物38億歳

生き物はみんな親せきどうし!?

君たちもよく知っている恐竜。その恐竜がいた時代よりもずっと昔に生き物はこの地球上に誕生した。

地球が生まれたのは今から46億年前。最初の生命が誕生したのは38億年前。それは、とても小さな生命体で、地球上のすべての生き物の祖先だ。そのたったひとつの生き物から長い長い時間をかけて、あるものは魚になったり、あるものはこん虫になったり、鳥になったりした。君たち人間も、こん虫も鳥も、38億年前に同じご先祖様をもつ親せきどうしなんだ。



これは地球誕生から現在に至る46億年を1年間365日のカレンダーに直したものだ。恐竜の誕生は11月終わり。人類の誕生はなんと12月31日の大みそか。つい最近のことじゃ。とんでもなく生き物の歴史は長いんじゃ。

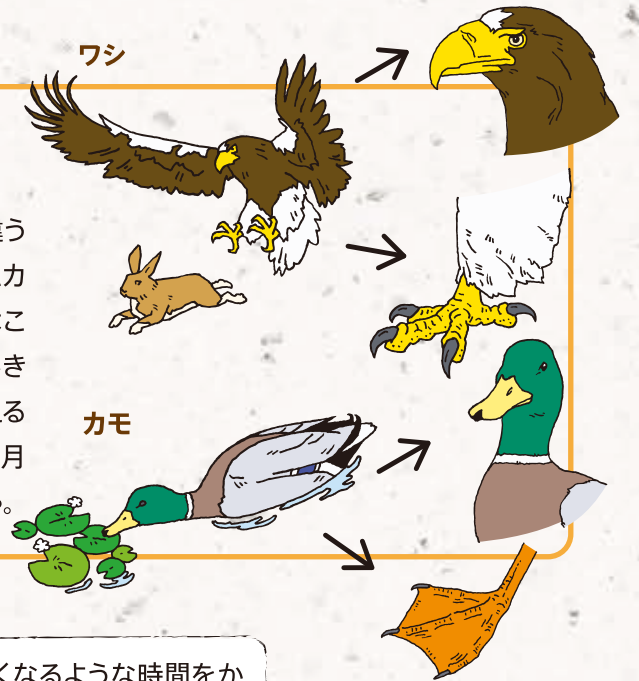
進化する生き物たち

最初の生命体は海で誕生した。その後、環境の変化や厳しい生存競争を乗り越え、長い年月をかけて姿を変え、陸上に進出し、大地を駆け、大空を舞うことができる生き物になっていった。これを進化という。中には競争に敗れて絶滅する生き物もいたけど、多くの生き物はいろいろな種類に分かれ、生き残ってきた。そして今、地球上には3千万種の生き物がすむまでになった。

博士の物知りコーナー 2

鳥のくちばしと足

同じ鳥でも、食べるものやすむ場所が違うとまったく違う形に進化する。例えばワシとカモ。肉食のワシと水草をよく食べるカモではこんなにくちばしが違う。足もカモには水かきがついているが、ワシは獲物をしっかり捕えるためにかぎ爪がついておる。彼らは長い年月をかけて、このような体を手に入れたんじゃ。



みんな、気の遠くなるような時間をかけて、今地球上に生きているんだね。生き物それぞれに、大昔から続く歴史のつながりがあるなんて、すごいや。

